

令和3・4年度

第3回 千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会

—千葉市最終処分場長期責任型運営維持管理事業—

審査結果及び審査講評

令和4年12月5日

千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会

《目 次》

1 千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会.....	1
2 審査方法.....	1
3 落札者決定の経過等.....	3
4 審査結果の概要.....	3
(1) 応募者.....	3
(2) 入札参加資格審査.....	4
(3) 基礎審査.....	4
(4) 非価格要素審査.....	4
(5) 価格審査.....	8
(6) 総合評価点の算出及び最優秀提案者の選定.....	8
5 総評.....	9

1 千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会

千葉市（以下「市」という。）は、市内 5 つの最終処分場の次期長期責任型運営維持管理事業における事業者の選定にあたり、専門的意見に基づき公平かつ客観的な審査を実施するため、千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会設置条例に基づき、千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置した。審査委員会を構成する委員は、学識経験者等の次の 4 名である。

伊藤 麻里	アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業 弁護士
瀧 和夫	千葉工業大学 名誉教授
藤原 周史	一般財団法人日本環境衛生センター 東日本支局 環境事業本部 環境事業第三部 部長
山田 正人	国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域 廃棄物処理処分技術研究室 室長

2 審査方法

入札公告から契約締結に至るまでの流れは図 1 のとおりである。審査方法は、はじめに、千葉市事務局において、応募者の入札参加資格審査を実施したのち、基礎審査を実施して審査委員会へ報告した。その後、応募者から提出された事業提案書の内容を評価して得点化する非価格要素審査及び入札価格を得点化する価格審査を実施し、非価格要素点と価格点の合計を総合評価点とし、総合評価点の最も高い応募者を最優秀提案者として選定した。このうち、非価格要素審査の実施にあたっては、応募者へのヒアリングを実施し、事業提案書の内容について理解を深めた。

なお、審査にあたっては、応募者識別符号のみが記載された審査資料に基づき審査し、応募者の匿名性を確保した。

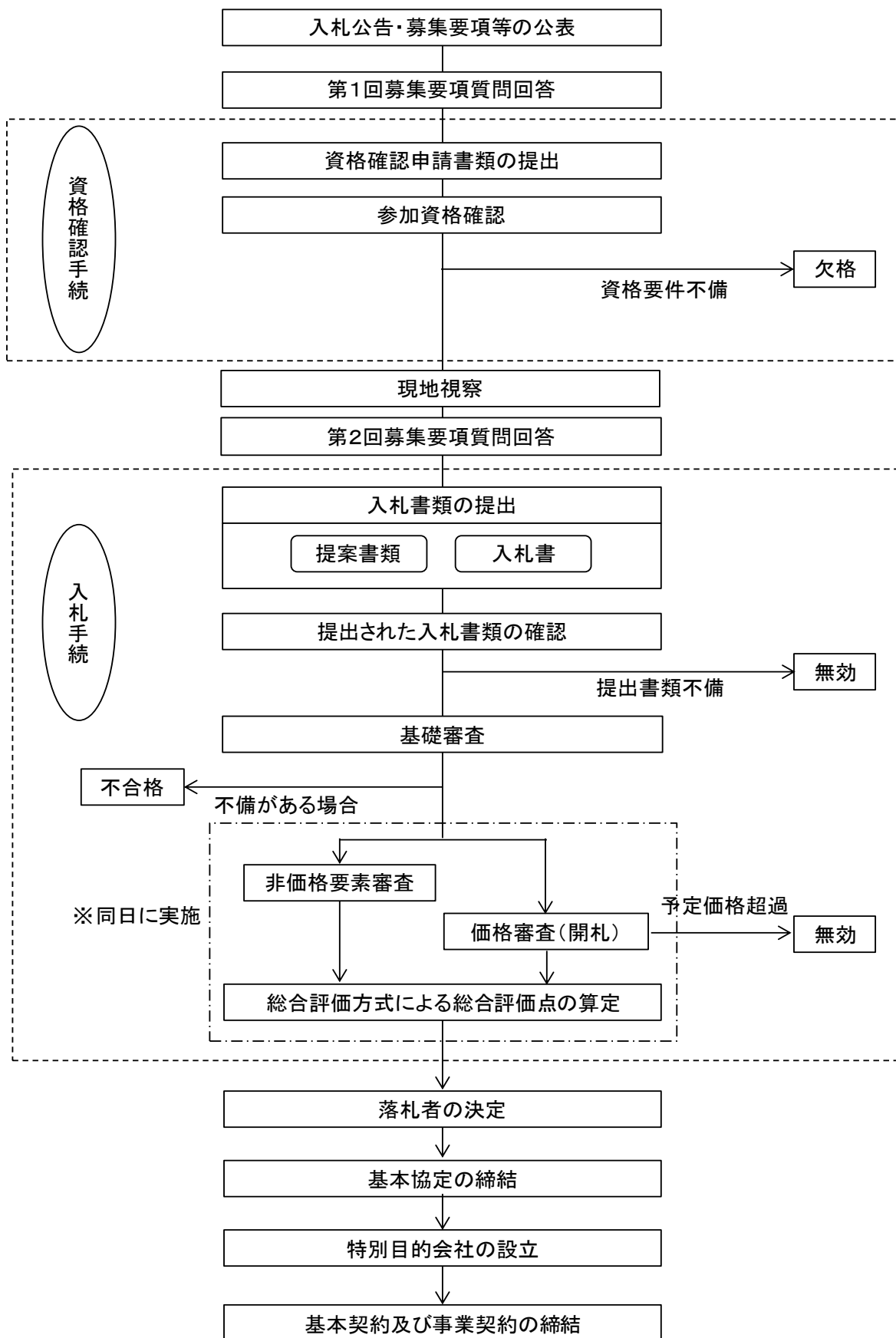


図 1 契約締結までの流れ

3 落札者決定の経過等

落札者決定の経過等は、表 1 に示すとおりである。

表 1 落札者決定の経過等

日 付	項 目
令和 3 年 11 月 25 日（木）	第 1 回千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会
令和 3 年 12 月 23 日（木）	実施方針の公表
令和 4 年 1 月 12 日（水）	実施方針に関する意見・質問の受付期限
令和 4 年 1 月 28 日（金）	実施方針に関する意見・質問への回答
令和 4 年 2 月 10 日（木）	第 2 回千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会
令和 4 年 4 月 18 日（月）	入札公告及び入札説明書等の公表
令和 4 年 4 月 28 日（木）	第 1 回募集要項（資格審査に関する）質問の受付期限
	第 1 回募集要項（資格審査以外に関する）質問の受付期限
令和 4 年 5 月 16 日（月）	第 1 回募集要項（資格審査に関する）質問に対する回答
令和 4 年 5 月 27 日（金）	第 1 回募集要項（資格審査以外に関する）質問に対する回答
	資格確認申請書類の受付期限
令和 4 年 6 月 16 日（木）	資格審査結果の通知
令和 4 年 6 月 22 日（水）	現地視察
令和 4 年 6 月 30 日（木）	第 2 回募集要項質問の受付期限
令和 4 年 7 月 15 日（金）	第 2 回募集要項質問に対する回答
令和 4 年 8 月 17 日（水）	入札書類（事業提案書・事業計画書・入札書）の提出期限
令和 4 年 10 月 28 日（金）	第 3 回千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会
	最優秀提案者の選定
令和 4 年 11 月 16 日（水）	落札者の決定

4 審査結果の概要

（１）応募者

令和 4 年 4 月 18 日に入札公告及び入札説明書等を公表し、1 者の応募者から入札参加資格審査に関する書類が提出された。

■応募者名：緑グループ

構 成 員	住友重機械エンバイロメント株式会社（代表企業） JFE 環境サービス株式会社 水 ingAM 株式会社 東関東営業所
協力企業	有限会社九十トラック運送店

（２）入札参加資格審査

入札説明書で示した参加資格要件について市が審査をした結果、応募者が参加資格を有していることを確認し、令和４年６月１６日に入札参加資格審査結果を応募者に通知した。なお、入札参加資格を確認した応募者には、市が応募者識別符号「緑グループ」を設定した。

表 １ 入札参加資格審査結果

項 目	応募者
ア 共通の参加資格要件	参加資格有
イ 運転維持管理業務に係る実績等	参加資格有

（３）基礎審査

応募者から提出された入札書類について、落札者決定基準書に示す基礎審査項目を満たしていることを市が確認し、審査委員会へ報告した。基礎審査結果は表２に示すとおりである。

表 ２ 基礎審査結果

項 目	応募者
	緑グループ
◆提出書類の整合確認 ○必要な書類が揃っているか。 ○書類間の整合が図られているか。	合 格
◆事業提案書の要求水準確認 ○事業提案内容が要求水準を満たしているか。	合 格

（４）非価格要素審査

ア 審査項目の採点基準及び得点化方法

応募者から提出された事業提案書の内容に関し、落札者決定基準書に示す 18 項目について表３に示す採点基準に従い、審査委員の合議により採点し得点化した。

表 3 採点基準及び得点化方法

評価	採点基準	得点化方法
A	特に優れている	(配点×100%)
B	AからCの間	(配点× 75%)
C	優れている	(配点× 50%)
D	CからEの間	(配点× 25%)
E	要求水準を満たす程度	(配点× 0%)

注) 非価格要素格点=70点×(審査項目点数の合計値/70)

小数点第3位を四捨五入して、小数点2桁まで算出した値とする。

イ 審査結果一覧

非価格要素審査結果は表4に示すとおりである。また、非価格要素審査の講評は表5に示すとおりである。

表 4 非価格要素審査結果

審査項目	配点	緑 グループ
非価格要素審査		
1. 運営維持管理体制	15	10.75
(1)運営体制、人材育成、安全及び環境保全に関する提案	5	3.75
(2)個別設備の安定稼働が確保可能な運営維持管理体制	3	2.25
(3)セルフモニタリングの実施体制	2	1.00
(4)複数施設の管理効率化及び連携に関する提案	3	2.25
(5)地元雇用への配慮	2	1.50
2. 浸出水処理施設運転維持管理業務	25	17.00
(1)安定稼働のための運転管理に関する提案	7	5.25
(2)保守管理、修繕、更新に関する提案	7	3.50
(3)事業期間における調達を円滑に行うための提案	4	3.00
(4)事業期間終了後の性能維持に関する提案	3	2.25
(5)業務の引継ぎに関する提案	4	3.00
3. 埋立処分地運営維持管理業務	15	9.50
(1)埋立作業に関する提案	5	3.75
(2)埋立計画に関する提案	5	2.50
(3)施設管理に関する提案	3	2.25
(4)廃止促進に関する提案	2	1.00
4. リスクへの対応能力	15	10.50
(1)事業リスクの抽出、未然防止、顕在化した際の対応	5	3.75
(2)浸出水質変化、想定外降雨時等における対応	3	1.50
(3)事故・災害時における運転管理体制、対策、対応マニュアル	3	2.25
(4)事業期間におけるSPCの業務履行能力の確保策、財務面での安定性に関する提案	4	3.00
審査項目得点の合計値		47.75
非価格要素点 [70点×(審査項目点数の合計値/70)]		47.75

表 5 非価格要素審査の講評

講 評	
1. 運営維持管理体制	
(1) 運営体制、人材育成、安全及び環境保全に関する提案	・ 本件施設を事業期間にわたって安定的・効率的・一体的に運営する体制を示し、十分な経験を有した有資格者や適正な人数の運転員を配置する提案がなされていた。 ・ 事業期間中の従業員教育について、具体的な実施内容や実施体制についての提案がなされていた。 ・ 従業員の安全確保や環境の保全に関し、重点的に取組む項目を示すと共に具体的な対策についての提案がなされていた。
(2) 個別設備の安定稼働が確保可能な運営維持管理体制	・ 業務実績を有する構成員や協力会社で SPC を構成し、SPC、構成員及び協力会社それぞれの役割分担が適切かつ明確化された提案がなされていた。
(3) セルフモニタリングの実施体制	・ 本件施設の運営・維持管理や SPC の財務面において、SPC が自らをモニタリングする体制及び市への報告を確実とする体制の提案がなされていた。
(4) 複数施設の管理効率化及び連携に関する提案	・ 本件施設の情報共有化や業務品質の統一を図るとともに、共通業務の一括発注や非常時の連携について具体的な提案がなされていた。
(5) 地元雇用への配慮	・ 地元雇用、地元企業との連携等についての提案がなされていた。
2. 浸出水処理施設運転維持管理業務	
(1) 安定稼働のための運転管理に関する提案	・ 浸出水処理施設の運転管理の経験に基づく具体的な提案がなされていた。
(2) 保守管理、修繕、更新に関する提案	・ 各設備機器の予防保全計画に関し、重要性や優先性等を考慮し効率的な保全を実施するための具体的な提案がなされていた。 ・ 浸出水処理施設の保守管理等の経験に基づく具体的な提案がなされていた。
(3) 事業期間における調達を円滑に行うための提案	・ ユーティリティ（薬品・電力）等の円滑調達について具体的な提案がなされていた。 ・ 本件施設の運転に用いる薬品類については、災害時は複数の手配ルート確保により安定調達を可能とする具体的な提案がなされていた。
(4) 事業期間終了後の性能維持に関する提案	・ 運営期間最終年度に本件施設の機能を 1 年間維持するための事業実施計画の見直しや運営期間終了後 1 年間はグループ構成員の技術がサポートを実施するなど具体的な提案がなされていた。
(5) 業務の引継ぎに関する提案	・ 事業期間終了時における新たな事業者等への運転管理業務の引継方法について、継続して運転管理業務が安定的に行えるよう、運転研修を実施するなどの具体的な提案がなされていた。

講 評	
3. 埋立処分地運営維持管理業務	
(1)埋立作業に関する提案	・即日覆土についての具体的な提案がなされていた。 ・遮水シート保護のため、粒度別の埋立方法等についての具体的な提案がなされていた。 ・埋立作業員の安全確保に関し、滑落事故の防止等についての具体的な提案がなされていた。
(2)埋立計画に関する提案	・事業期間に必要な埋立計画、埋立ごみの管理（いつ、どこに、何を埋めたか）及び浸出水量の発生抑制等についての提案がなされていた。
(3)施設管理に関する提案	・埋立処分地施設の管理内容・方法に関し、施設の特徴を十分に理解した具体的な提案がなされていた。
(4)廃止促進に関する提案	・埋立中の最終処分場に関し、準好気性を維持確保するための具体的な提案がなされていた。
4. リスクへの対応能力	
(1)事業リスクの抽出、未然防止、顕在化した際の対応	・想定される環境上・運転上のリスクを抽出し、そのリスクに対する具体的かつ効果的な対応策についての提案がなされていた。特に、資材リース会社と災害協定を締結して資機材の優先調達を図るなどのリスク低減のための提案がなされていた。
(2)浸出水質変化、想定外降雨時等における対応	・浸出水質変化及び想定外降雨等に対し、本件施設の要求水準を満たすための維持管理の方法に関し、長期・中期・短期ごとの浸出水質変化における対応等についての提案がなされていた。
(3)事故・災害時における運転管理体制、対策、対応マニュアル	・事故及び災害時の管理体制、連絡体制、運転体制及び運転方法についての提案がなされていた。
(4)事業期間における SPC の業務履行能力の確保策、財務面での安定性に関する提案	・事業期間における SPC の業務履行能力を確保するためのバックアップ体制および財務面での安定性維持に向けた支援策などについての具体的な提案がなされていた。

(5) 価格審査

審査委員、市及び応募者の立会いのもと開札し、応募者から提出された入札書の金額が、予定価格の範囲内であることを確認した。価格審査結果は表 6 に示すとおりであり、落札者決定基準書に基づき、入札価格を得点化した。

表 6 価格審査結果

項目	応募者
	緑グループ
入札価格	5,039,517,000 円
価格点	30.00 点

注) $\text{価格点} = 30 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$

得点は小数点第 3 位を四捨五入して、小数点 2 桁まで算出した値とする。

予 定 価 格 : 5,544,495,000 円 (消費税及び地方消費税を含む)

入札書対照価格 : 5,040,450,000 円 (予定価格から消費税及び地方消費税を除いた価格)

(6) 総合評価点の算出及び最優秀提案者の選定

落札者決定基準書に従い表 7 に示すとおり総合評価点を算定し、審査委員会は「緑グループ」(代表企業：住友重機械エンバイロメント株式会社)を最優秀提案者として選定した。

表 7 総合評価点の算出結果

項 目	応募者
	緑グループ
非 価 格 点 (配点 70 点)	47.75 点
価 格 点 (配点 30 点)	30.00 点
総合評価点 (配点 100 点)	77.75 点

注) $\text{総合評価点} = \text{非価格点} + \text{価格点}$

5 総評

審査委員会は、あらかじめ公表された落札者決定基準書に基づき、厳正かつ公正に審査を行った結果、応募者「緑グループ」（代表企業：住友重機械エンバイロメント株式会社、以下「住友重機械エンバイロメント株式会社グループ」という。）を千葉市最終処分場長期責任型運営維持管理事業の最優秀提案者として選定し、市は住友重機械エンバイロメント株式会社グループを落札者として決定した。

最優秀提案者の事業提案書は、最終処分場の長期的な運営・維持管理を実施した経験・実績に基づく具体的な提案となっており、本件施設の特質を十分に理解し、安定的な最終処分場の運営・維持管理を確実に実施できると評価した。特に事業期間終了後の性能維持に関する具体的な提案がなされていた点、また、本事業を堅実に遂行するという姿勢が評価された。

今後、住友重機械エンバイロメント株式会社グループと市は事業契約を締結し、長期間にわたり事業が実施されることとなるが、提案された内容を確実に履行するとともに、さらなる安全性の向上に尽力されることを期待するところである。そのうえで、本事業をさらに充実したものとするため、住友重機械エンバイロメント株式会社グループに対しては、以下の諸点について十分配慮していただくよう期待したい。

- （１）10年間の長期にわたり本事業を実施していくことを考慮し、構成員及び協力企業の経験や技術的知見を最大限に発揮するとともに、技術革新を積極的に取込み、経済的・効率的な運営・維持管理に努めること。
- （２）降雨量に対して調整池容量及び浸出水処理量が追いつかず、埋立層内に浸出水を溜めおく内部貯留を回避するため、埋立層内に浸透する雨水の排除方法について、さらなる検討を行うこと。
- （３）令和８年度に予定される千葉市新清掃工場（北谷津用地）の稼働にともない、主な埋立物が焼却灰から熔融飛灰に代わることによる浸出水質の変化等を想定し、適切な埋立方法を提案し実行すること。
- （４）運営・維持管理における適正かつ実効性のあるモニタリング体制を構築し、安定的・効率的な施設運営を実現すること。
- （５）長期的な視点に立った従業員の教育体制を確立し、体系的な教育プログラムにより人材育成及び安全衛生教育に努めること。
- （６）事業期間を通じて、地元雇用と地元企業の活用提案を確実に実現するとともに、更なる拡大に努めること。
- （７）災害時は、悪臭発生が懸念される有機物含有割合の比較的多い可燃系混合物が直接埋立てられることを想定し、悪臭対策を検討しておくこと。また、当該可燃系混合物が直接埋立てられている最終処分場は注意深く経過を観察すること。
- （８）事業開始までに作成する危機管理マニュアル及び既存の事故対応マニュアル（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第２１条の２）については、両マニュアルの整合性を図るとともに、事故対応マニュアルは内容の充実を図ること。また、事故・災害時の指揮命令系統については、市の意向を踏まえつつ、十分に協議したうえで確立・共有すること。
- （９）省エネルギー対策の提案を確実に実施するとともに、脱炭素社会の実現に向けてさらなる

取組みに努めること。また、費用対効果を含めた省エネルギー対策についても検討を行うこと。

- (10) 気候変動の影響がもたらすリスクの予防に万全を期すこと。

令和4年12月5日 千葉市一般廃棄物処理施設長期責任委託審査委員会